



菊武学園フラッシュニュース

城山小児童 130 名が見学 名産大ウエイト部の練習風景



(200 キロのバーベルに児童は歓声)



(児童も 20 キロに挑戦する)

尾張旭市立城山小学校の4年生130名が11月22日、総合学習のキャリア教育「夢をつかむ」の授業で、名古屋産業大学ウエイトリフティング部を訪れ、選手らに「一番のやりがいは」と

鋭い質問を投げかけていました。

児童たちはまず、男女選手6名による練習風景を見学しました。全日本女子学生選手権で優勝した山本真鼓選手が100キロ超のバーベルを持ち上げ、児童からは「わー」という歓声が上がっていました。

続いて児童代表4名が、20キロのバーベルに挑戦、腰のあたりまで持ち上げるのがやっとで、「重いです」と驚いていました。

最後に児童からの質問に山本選手が「東京五輪での金メダル」と答えると、児童らは目を輝かせて聞いていました。

最終戦で名大に一矢報いる 名産大サッカー部 2 部残留



(最終戦で勝利した名産大イレブン)

名産大サッカー部は、11月11日に行われた東海学生2部リーグ最終節で、これまで苦戦を喫し、2年

間勝利のない名大に2-1で勝利しました。

2部残留をかけた試合で選手は奮起し、激しいヘディングの応酬などで前半に2点をもぎ取り、1点差になった後半の追い上げにも選手一丸となってしのぎました。

名産大野球部 2 部復帰 最優秀選手賞に清水選手



名産大学硬式野球部は11月、愛知大学野球秋季リーグ2・3部入れ替え戦で名産大に連勝し、2部復帰を果たしました。外野の清水雅貴選手(1年)は最優秀選手賞に選ばれました

高木理事長 来年の70周年への躍進呼びかけ 菊武学園教育懇談会に幹部ら最多の参加者集う



(最多の参加に謝礼)

第28回菊武学園教育懇談会は11月10日、名古屋駅のJPタワー名古屋と隣の名古屋JRゲートタワーホテルで開催されました。各校・園のPTA、後援会、学園などの幹部ら、これまで最多の100名が参加し、理解と親睦を深めました。

第1部の懇談会では、高木弘恵理事長が「来年度は学園創立70周年を迎えます。教職員が一丸となって改革を進めていきたい」と挨拶。続いて名古屋産業大学の河村陽介講師が、CGの新しい動きの映像投影について講演し、名産大1年で元プロボクシング世界チャンピオンの高山勝成選手にウルトラマンの映像を重ねて投影し、参加者を驚かせました。



(高山ウルトラマン登場)

高山選手は2020東京五輪にける意気込みを話し、アマボクシングの規約改正を求める署名をお願いしました。

第2部の懇親会はJRゲートタワー15階階のレストランに会場を移し、名古屋産業大学後援会役員らを交えて開かれました。二村友佳子・名古屋経営短期大学後援会会長が「70周年を迎えるにあたり、これまで以上に学園を支援したいと思います」とお祝いの言葉を述べられました。



(教育懇談会で来年の70周年を強調する)



(講演に熱心に耳を傾ける学園幹部ら)



(二村後援会会長による乾杯のご発声)

「介護の日」多彩な催事 短大健康福祉学科 10 周年



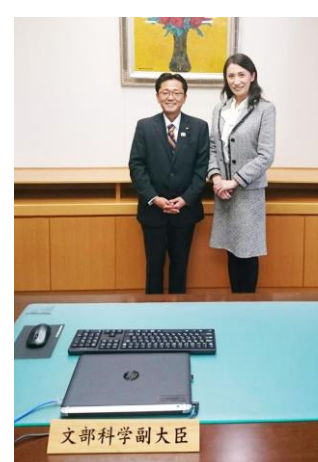
(車いすダンスの会が優雅な踊りを披露する)

名古屋経営短期大学健康福祉学科が新設されて10周年の記念イベント「11月11日は介護の日」が、名古屋キャンパスで開かれました。高木弘恵学長が「きょうは周りの人に手を差し伸べることの大切を思い浮かべる日にしよう」と呼びかけ開幕しました。

健康福祉学科の学生3名が、実習体験を報告し、続いて認知症の介護人を描いた映画「ケアニン」を上映、プロデューサーの山国秀幸さんが介護士の仕事の厳しさを語りました。

午後からは、車いすダンスの会「ビバーチェ」のメンバー約20名が優雅なダンスを披露。会場では健康弁当や「わっぱん」のパン販売の出店がにぎわいました。

丹羽文部科学副大臣 再任 高木理事長がお祝いの挨拶



文部科学副大臣

第4次安倍内閣が発足して直ぐの11月7日、高木弘恵理事長は文科省副大臣室で、引き続き文部科学副大臣に就任された丹羽秀樹衆院議員(愛知6区選出)に直接、お会いし、お祝いの挨拶をされました。

丹羽副大臣は「専門職大学は地域産業、企業と密着して学ぶ場。積極的に応援していきたい」と抱負を述べられました。丹羽副大臣の祖父で、労働大臣などを歴任された故丹羽兵助氏は、1973年から17年間余、菊武学園理事長を務められました。

この日、文科省では再来年春開設の専門職大学の説明会が開かれたのを機に、高木理事長や伊藤雅一学長補佐が文科省を訪れたものです。

部活動・レコード・記録

◆菊華高校自転車競技部 疋田力也(2年)(愛知県高校新人体育大会学校対抗3位)